

### 大網白里町民号に参加しませんか

今年はお座敷電車で行く“秋の上高地・奥飛騨路、ひだ高山の旅”を大網駅とともに企画しました。

初日は、お座敷電車「宴」で親睦を深めた後、国選定重要伝統的建造物群保存地区にも指定されている古い街並の残る高山市内へ。

ホテルでは、美しいアルプスの山々や高山の街並が一望できる展望大浴場、畳敷きの床で和風感を演出した和風大浴場などで旅の疲れを癒していただきます。そして、皆さんの歌と厳選された旬の幸が宴を盛り上げます。

翌日は、合掌造りをはじめとした古い貴重な民家が移築された「飛騨の里」を観光した後、紅葉鮮やかな「上高地」へ。アルプスの山々が作り出す雄大な自然の美しさを満喫できます。

秋の行楽シーズン、家族や友人と出掛けてみませんか。

- ▶ 期日=10月18日(水)~19日(木)
- ▶ 参加費=35,000円
- ▶ 募集人数=130人(最少催行人員120人)
- ▶ 宿泊先=ひだホテルプラザ(岐阜県高山市)
- ▶ 行程
- <1日目> 永田駅=大網駅=茅野駅=道の駅=平湯=ホテル
- <2日目> 飛騨の里=上高地=道の駅=茅野駅=大網駅=永田駅
- ※=お座敷電車 一貸切バス
- ▶ 主催=東日本旅客鉄道株式会社(東京都知事登録旅行業第2-2743号)
- ☎ 大網JR大網駅/佐瀬 ☎(72)0054
- ☎ 企画政策課政策推進係 ☎(70)0317



### 児童手当制度の拡充による申請は9月中旬に手続きを!

児童手当制度の改正により、支給対象年齢が小学3年生から小学校6年生まで拡大され、併せて所得制限が引き上げられました。申請が済んでいない方は、9月中旬に手続きをしてください。

改正による申請は、9月末までに受け付けたもの限り、4月1日(または支給要件に該当した日)にさかのぼって支給されます。

10月1日以降に申請のあった場合は、申請の翌月からの支給となりますので、必ず9月中旬に申請をお願いします。郵送による申請は、到着日が申請日となりますので、ご注意ください。

◆対象  
①5・6年生の児童の保護者  
②4年生の児童の保護者(3月以降に町に転入された方)  
③所得制限により児童手当を受給していない保護者(今回の所得制限引き上げで該当になった方)  
◆手続きに必要なもの  
◆対象の①で現在、児童手当を受給していない方②③の方  
・認定請求書(健康福祉課・白里出張所窓口にあります)  
・請求者(保護者)の保険証  
・請求者(保護者)名義の通帳  
※郵便局以外の普通預金口座  
・平成17年度児童手当所得証明書(平成17年1月1日現在、町に住所がなかった方)  
・平成18年度児童手当所得証明書(平成18年1月1日現在、町に住所がなかった方)  
・印鑑  
◆対象の①で現在、児童手当を受給している方  
・額改定請求書(健康福祉課・白里出張所窓口にあります)  
・印鑑

※申請手続きについて、公務員の方は勤務先へお問い合わせください。  
☎ 健康福祉課児童福祉係 ☎(70)0331

### 予防接種のお知らせ

◆麻疹・風しん混合(MR)予防接種  
すでに麻疹または風しん予防接種を済ませていても、この新ワクチンの接種を受けることとなります。

対象者には、日程を通知してありますので、確認してください。

▼日時 9月1日(金)、5日(火) 13時20分~14時20分  
▼会場 保健センター

### 在宅介護支援センターだより 36

「認知症のおはなし」

近年、わが国の高齢化率は急速に伸びてきています。2005年の国勢調査では、65歳以上の老年人口割合は21%(2,682万人)で、世界で一番高いという結果が出ています。また、認知症の高齢者も年々増加し、2005年には約189万人、20年後には約292万人に達し、85歳以上の高齢者の4人に1人が認知症といわれています。

これから、ますます高齢化率が高くなる中で、一人ひとりが元気な毎日を送れるよう

### 開発事業に伴う埋蔵文化財の取扱いの手続きが変更になります

埋蔵文化財の保護と開発事業との調整、発掘調査などの措置について、一部見直しが行われました。これにより、「開発事業に伴う埋蔵文化財の取扱いについて」の手続きが、10月1日より変更になります。

▼変更点 土地開発事業用地が周知の埋蔵文化財包蔵地に含まれているかどうか、口頭による回答ができます。

今後、事業を予定している方は、窓口またはFAX(連絡先、事業予定地のわかる地図)でお問い合わせください。※文書による回答が必要な場合は、規程の様式で手続きをお願いします。

☎(70)0381  
☎(72)8454

### 大網白里町自衛隊協力会が発足

去る7月15日、中央公民館で設立総会が行われ、「大網白里町自衛隊協力会」が発足しました。

自衛隊協力会は、自衛隊と住民との相互理解と親睦を図り、自衛隊の健全な発展に貢献することを目的としています。

町自衛隊協力会では随時会員を募集していますので、皆さんの参加をお願いします。

◆自衛官募集に関する問い合わせは、自衛隊千葉地方協力本部茂原地域事務所へ ☎0475(25)0452  
☎ 町住民課町民相談係 ☎(70)0342

### 育つ 育てる



子どもが落ち込んだり、悩んでいたりするように見えるとき、心配をたまるなくなるといいたいと思います。そして「どうにかして原因を知りたい」と思ったり、「困ったことがあったら、言ってみよう」と聞きたら、「どうしてそんなにいいアドバイスをしてくれませんか?」と聞きたら、「何もしないでほしい。自分の問題だから」という答えが返ってきませんか? そうです。実は子どもにとっては、何かに悩んだり、嫌な経験をしたりすることは成長する上でとても大切なことです。自力で解決しようとするのが成長には欠かせないのです。大概の場合、親は見守るだけでよいのです。

ただ、子どもを応援していることをうまく伝えたい場合もあります。そんなときは「スラスラと言葉かけをするよりは、子どもの好きなあやつり人形や、おもちゃを一緒に遊んでみる」などの工夫が効果的かもしれません。また、食や物の効果的な楽しみ方、散歩したりするなどの「ゆったりした時間を共有する」のも良いですね。

子どもは自分なりに問題を消化して成長していくものです。ただ、あるときから急に元気をなくしたり、一カ月以上も元気がない状態が続いたりするときは放っておかない方がいいと思います。また、親の側でいつもと違うものを感じたときも同様です。学校などでトラブルの原因で、早めに手を打つ方がよい場合もあるからです。

特にいじめの問題は、子ども自身では解決がつかず、周囲が適切に対処することが必要です。あまりに長引く場合は、医療のサポートを受けた方がいい場合もあります。これらの場合も、学校や周りの人などの協力をお願いして、状況(事実関係)を見極めることが必要でしょう。

そしてこんな場合でも、親に温かく見守られているという感覚は、子どもにとってとても大切です。そこから困難に立ち向かう力が生まれてくると思います。

☎ 町住民課町民相談係 ☎(70)0072